

C.L. information

Vol.58 2016 年 7 月

特 集

◆ 身近に迫る外来生物問題

食中毒情報



株式会社コントロール・ラボ

身近に迫る外来生物問題

外来生物が問題となってから久しいですが、もはや外来と思わなくなるほど、身近にはたくさんの海外産の生物が生息しています。どこにでもいるオカダンゴムシや、クローバーで知られるシロツメクサ、釣りで人気のあるブラックバスなど、例を挙げるときりがありません。これらの中には家畜やペットなど私たちの生活に欠かせない生物もありますが、反対に、人に被害を及ぼすだけでなく、他の生物や生態系にも悪影響を及ぼす生物がたくさんいます。

外来生物とは？

外来生物（もしくは外来種）とは、人間の活動に伴ってそれまでその生き物が生息していなかった場所に持ち込まれた生物のことを指します。日本に侵入している外来生物は約 2,000 種とされていますが、これらの中から、特に人に被害を及ぼす種類や今後広がることが懸念される種類をご紹介します。

<ヌートリア>

原産地：南アメリカ

分布：西日本を中心に 20 府県以上

被害：イネやオオムギ、葉野菜などの農作物を食害することで農業的被害を及ぼす他に、川辺の土中に深く入り組んだ巣を掘るため、水田の畔や堤防が破壊される被害。

特徴：日本に生息するネズミ類の中では最大の種類で、体長 50～70cm 程です。日本には昭和初期に毛皮用として導入された個体が逃げ出したり、野外に放逐されて現在まで定着しました。主食は水生植物の葉や地下茎、貝類などです。対策としては、生け捕り用の箱罠を巣の近くなどに設置して捕獲が挙げられます。見た目は動物園の人気者のカピバラに似ていますが、性格は凶暴で噛む力が非常に強いので危険です。



<アライグマ>

原産地：北アメリカ大陸

分布：ほぼ日本全国

被害：トウモロコシ、スイカ、メロンなどの農作物の食害。家屋への侵入による壁の破損や糞尿による汚損。池の鯉や金魚の被害。

特徴：雑食性の哺乳類で、体重が 4～10kg になります。海外からの移入により日本全国の広い地域に定着しており、特に 1970 年代にテレビアニメ「あらいぐまラスカル」の影響もあり、ペットとして飼われた個体が逃げ出したり、放逐されて広がりました。対策としては、箱罠による捕獲の他、農耕地の場合は電気柵や網囲いなどが挙げられます。前足を水中に入れて洗うような愛らしい仕草が特徴的です。



<カミツキガメ>

原産地：アメリカ大陸

分布：千葉の印旛沼水系や静岡の狩野川水系など。他の都道府県においても目撃や捕獲例有り。

被害：咬傷被害

特徴：大形のカメ類で、甲長が最大で 50cm 程の雑食性の種類です。日本ではペットとして輸入された個体が放逐されて広がったと考えられています。カミツキガメは、その名の通り、噛む力が非常に強く危険です。人間の大人の指でも簡単に引きちぎる力があるだけでなく、なんと！、1 メートル程の距離であれば、首を伸ばしながら凄まじいスピードでジャンプして飛びかかります。長寿で 50 年以上生きることができると考えられています。



<アルゼンチンアリ>

原産地：南アメリカ大陸

分布：12 都府県（東京、神奈川、静岡、愛知、岐阜、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、山口、徳島）

被害：咬傷害、在来種のアリの駆逐、農作物の被害

特徴：屋内に侵入して食べ物に群がり、就寝中に噛むなどの被害を及ぼす不快害虫です。1993 年に初めて確認されてから、物資や人の移動に伴って分布を急速に拡大しています。巣には多数の女王アリがおり、働きアリの個体数も非常に多くなります。木材の割れ目やコンクリートのヒビ、壁の隙間のような、非常に狭い隙間に営巣します。アルゼンチンアリの行動スピードはとても速く、在来種のアリの 4 倍近いスピードで動くことができます。近年、日本だけでなく、世界中で大きな問題となっています。



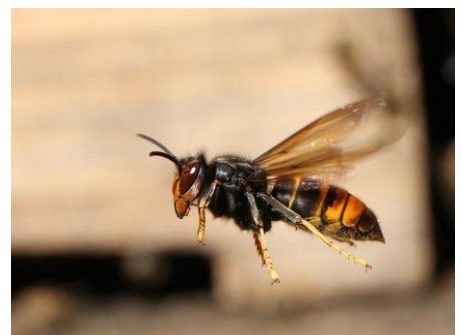
<ツマアカスズメバチ>

原産地：中東から東南アジア、中国、台湾

分布：長崎県対馬市、福岡県北九州市

被害：刺傷被害、養蜂業への被害

特徴：ごく最近日本に侵入して問題になっているスズメバチです。2013 年に長崎県対馬市で初めて発見され、2015 年に福岡県北九州市でも営巣が確認されました。スズメバチであるため、当然、人への刺傷被害がある他、ミツバチなどの他の昆虫を攻撃するため、養蜂業への被害が発生します。巣は樹木の高い位置に作ることが多く、巨大で長径 1m 程に達することもあります。本種も世界中で大きな問題となっている種類で、分布を拡大するスピードが早いことが知られており、今後、日本の拡大が懸念されています。



外来生物によって引き起こされる問題

外来生物は人に直接的な被害を与えるだけでなく、生態系の攪乱や産業にも影響します。

人への影響	ハチによる刺される被害やカミツキガメなどの咬まれる被害、ゴケグモ類などに見られる毒による被害。新たな感染症の拡大や、寄生性の生物の媒介など。
生態系の攪乱	在来の動物や植物を捕食・もしくは環境を奪い、駆逐する。 在来の近縁種と交雑して雑種を作ってしまう、病気などに対する抗体が失われる恐れ。
産業への影響	農作物や木材への直接的な被害。漁業での漁獲量の低下など。

特定外来生物の規制

外来生物法で「特定外来生物」に指定された生物は、以下のように厳しく規制されています。

- 飼育、栽培、保管、運搬の原則禁止
- 輸入の原則禁止
- 野外へ放つ、植える、まくことの禁止
- 飼養等の許可を受けていない者に対しての譲渡や引き渡し、販売の禁止
- 許可を受けて飼養等する場合、マイクロチップを埋め込むなどの個体識別の措置を講じる義務

外来生物や蚊の対策でお困りの方、弊社までご相談下さい。

食中毒情報

気温が高くなり、各地で食中毒注意報が発令されています。飲食店や食品工場だけでなく、一般家庭でも食中毒が発生しやすい時期のため、食材の取り扱いなど注意して下さい。

今月発生していた食中毒の内、半数の10件がカンピロバクターを原因としていました。カンピロバクターは、鶏肉などを原因食とする食中毒菌です。ノロウイルスや腸管出血性大腸菌O157と同様に、少量の菌で発症してしまうため、「食品に付けない」「加熱で殺す」といった対策が重要です。まな板・包丁などの調理器具の使い分けや、食品の中心部までの十分な加熱調理に気をつけて、発生の予防に努めてください。

全国食中毒発生状況 (6/15～7/14 新聞発表分)

原因物質	事例	感染者数
カンピロバクター	10	128
サルモネラ	2	53
ノロウイルス	2	53
セレウス	1	10
不明・その他	5	151

株式会社コントロールラボ

本社 〒651-1211 神戸市北区小倉台7-1-7
阪神事業部 〒658-0026 神戸市東灘区魚崎西町2-4-15
東京営業所 〒194-0004 東京都町田市鶴間424-1-402
福岡営業所 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑1-6-15-A棟3
フリーダイヤル

☎0120-540-643

URL <http://controllabo.co.jp>

TEL: 078-582-3575 FAX: 078-582-3576
TEL: 078-858-6801 FAX: 078-858-6802
TEL: 042-799-5270 FAX: 042-850-6456
TEL: 092-575-0630 FAX: 092-586-6321



MITEC
エムテック衛生検査所